

新潟県立長岡聾学校

きこえ通信

令和6年度 第5号

<http://www.nagaokarou.nein.ed.jp/support.html>

当校 HP に
も掲載中!

新潟県立長岡聾学校通級指導教室

〒940-0093 長岡市水道町 2-1-13

Tel 0258-38-0210 (通級指導教室)

*不在の場合5コール程で代表に自動で繋がります。

FAX 0258-39-5665

e-mail school@nagaokarou.nein.ed.jp

発行：令和6年8月 文責 柳原

「きこえ通信」はどの子にとっても役立ちます!

日頃、お世話になっているある先生から、こんなお話をいただきました。

【 きこえ通信の支援内容は、難聴の子だけでなく、どの子にとっても役に立つんですね! 学校に届いたらプリントアウトして、先生方に回覧する時に大事だと思うところにマーカーを引いたり、「ここを活用してください」とメモを書いたりしています! 】



ありがたいお言葉です。この「きこえ通信」の内容は、難聴のある児童生徒を想定して作成しています。

「ユニバーサルデザインの授業を行うと、全員の学力が上がる」とも言われています。授業や行事で配慮した内容は、どの児童生徒にとっても分かりやすいと言えます。難聴のある児童生徒が在籍していない学校でも、当「きこえ通信」を活用していただくとうれしいです。また、「ここが役に立った!」「こんな情報が欲しい!」などのご意見があれば、お知らせいただくと助かります。どうぞよろしくお願いいたします。

合唱コンクールなどへの取り組みについて

中学校では体育祭が終わると10月、11月に予定されている合唱コンクールの練習が始まる学校も多いと思います。小学校も学校によっては音楽発表があると思います。きこえにくさがある児童生徒がいる場合、本人の状態によって、次のような支援があるとありがたいです。他の児童生徒にとってもあると助かる支援です。

- ①歌、楽器演奏の出だしのタイミングが指揮などで分かるようにする。
- ②周囲の児童生徒から、アイコンタクトや身振りなどの合図を出してもらう。
- ③マスクを付けないのであれば、指揮者の口元が見える場所にいる。
- ④同じ楽器や役割の児童生徒が近くにいる。または本人から見える場所にいる。
- ⑤友達や先生から、ロジャーを使用して歌ってもらう。



☆全てこれと同じにする必要はありませんが、デリケートな部分でもあり、練習の様子を見たり、本人と相談したりして、一人一人のニーズや各学校の実情に合わせて支援をお願いいたします。リズムや音程、速度、声の大きさなどの調整が難しい生徒もいるので、本人がストレスにならないようにしていただくとありがたいです。ご相談がありましたら当校へご連絡ください。参照：「難聴をもつ小中高校生の学校生活で大切なこと」(岡山大学病院 耳鼻咽喉科)*難聴通級生徒在籍の中学校は、配付した学校もあります。↓下記より

<https://ousar.lib.okayama->

[u.ac.jp/files/public/6/61938/20210524182757709102/%E9%9B%A3%E8%81%B4%E3%83%91%E3%83%B3%E3%83%95%E3%83%AC%E3%83%83%E3%83%88%E6%94%B9%E8%A8%82%E7%AC%AC1.1%E7%89%88%E3%80%90%E5%B2%A1%E5%B1%B1%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E7%89%87%E5%B2%A1%E3%80%91.pdf](https://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/files/public/6/61938/20210524182757709102/%E9%9B%A3%E8%81%B4%E3%83%91%E3%83%B3%E3%83%95%E3%83%AC%E3%83%83%E3%83%88%E6%94%B9%E8%A8%82%E7%AC%AC1.1%E7%89%88%E3%80%90%E5%B2%A1%E5%B1%B1%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E7%89%87%E5%B2%A1%E3%80%91.pdf)

難聴のある高校生の進路について

難聴のある生徒が長岡地区ではほとんどの高校に在籍しています。在籍校の先生方、日頃のご指導をありがとうございます。

当校へここ数年、毎年難聴のある高校生の進路に関わる相談があります。それを受け、情報提供の必要性を感じ、お伝えすることといたしました。また今年度より、公的機関だけでなく、事業所も合理的配慮の提供が義務となりました。必要な配慮を依頼できるよう、当校でも情報提供を行いたいと思います。



難聴のある高校生の進路については、次の例を参照され、必要に応じて当校へご相談をお願いいたします。

進路の例	方法 留意点等
一般の大学、短大、専門学校等	各大学等の HP に記載のある、「障害のある学生」を対象とした、入試方法を参照。記載がない場合でも、各大学等へ入試方法を問い合わせる。
上記のうち、共通テストを利用	大学入試センターの「合理的配慮」の要項(各高校等へ配付または HP よりダウンロード)を参照。合理的配慮の申請メ切が早めなので、 <u>余裕をもって受診し、診断書を受け取る必要がある。R6 年度用は 7 月上旬発表。手続きは R6.8.1~R6.10.7まで。</u>
筑波技術大学 (茨城県つくば市)	難聴のある生徒(高校卒も含む)が対象。診断書を作成する医師が「指定医師」である必要があるため、必要に応じてかかりつけ医からの紹介状の準備を依頼するなど、 <u>余裕をもって受診する必要がある。詳細は HP を参照。</u>
聾学校高等部専攻科	難聴のある生徒(高校卒も含む)が対象。 <u>設置の有無、学科等は各校の HP を参照。</u>
就職	募集や申し込みは、各校の進路指導のルールによる。身体障害者手帳を利用した就職は、当校進路指導部へ案内が来ることがある。身体障害者手帳のある高 2 生徒対象のインターンシップの案内(県外)が来るともある。
☆自動車運転免許取得について	詳細は近隣の自動車学校へ、 <u>時間的な余裕をもって確認してほしい。</u> 10m離れたところから90dB のクラクションの音が補聴器を装着して聞こえること等が自動車学校入校の条件。
<p>☆進学、就職ともに、入ってからの配慮をお願いする必要があります。大学等であれば、「障害学生支援課」などの名称で、専門の窓口がある大学等が増えています。その窓口がなくて申請した結果、設立された大学等もあります。</p> <p>☆R6 年 4 月より「合理的配慮の提供」が、義務となりましたが、お願いしたことが全部受け入れてもらえるとは限らず、話し合いが必要な場面も出てきます。また、予算が必要なものは入学や入社が決まった後 3 月中に申し込むとスムーズなようです。</p> <p>☆いずれの場合も、「自分のきこえやお願いしたいことを自分で伝える。助けてもらったからお礼を言う。自分でできることを積極的に取り組む」のは同じです。</p>	



この内容は、メール送信とは別に、8月30日の長岡地区高等学校教頭会(会場：長岡聾学校)で、配付されます。各校でも、情報共有をお願いいたします。

県立長岡聾学校

<相談窓口>

教頭 三村 陽子 TEL 0258-38-0191

<担当>通級指導教室、支援部

教諭 柳原 範子 TEL 0258-38-0210

Mail:school@nagaokarou.nein.ed.jp